

会員名: 稲毛スカイタウンやすらぎの街管理組合法人

住 所: 千葉市稲毛区小中台町488-1

4階~14階建 5棟構成、1988年(S63)2月入居開始 築29年~28年、総戸数 356戸

・事前に質問を文書でいただき、樹木医大矢先生より、一般的な回答をさせていただいたが、会議室にて質疑応答後、実際に現場を見て廻りアドバイスしていただいた。

特に、高木(ケヤキ/メタセコイヤ/クスノキ)などの対応についてアドバイスを受けた。

稲毛スカイタウンは、ホームページで植栽マップや開花リストなども公開されており、主要樹木には樹木ラベルが付けてある。全般的に高いレベルの植栽管理をしておられる。

[稲毛スカイタウンホームページ](#)

[植栽マップ\(全体\)](#)
[植栽一覧\(開花時期\)](#)

←(クリック)



↑
シンボルツリーのメタセコイヤは問題ない。



↑
建物が高いので高木バランスはよい。



棟に近いクスノキは、伐採または強剪定で高さを切り詰めてもよいとのアドバイスあり。 →

広葉樹は、潜伏芽があるので、どこから切っても芽がでくる。

針葉樹には潜伏芽が乏しいものが多いが、メタセコイヤは潜伏芽が多く強剪定できる。





「桜切る馬鹿、梅切らぬバカ」は、単なる語呂合わせ、冬の剪定殺菌塗布すれば問題ない。
 (枝の広がりにより駐車に支障があるなら、エレガンテシマなどコニファーへの「植え替え」も検討の余地あり)



↑
折れた枝が引っかかっている。

↑
ケヤキは脇枝を切除する
「削ぎ剪定」もおすすめ。

剪定の切り口は斜めに
するのがポイント。





↑
クスノキは「すかし剪定」がおすすめ。



↑
伐採してもよいとの見解。



深植えとなっているので衰弱の原因となる。



根が広げられるのが望ましいが。



↑
建物に近いメタセコイヤは伐採しても問題ないとの見解。

